

キャベツのカルテック施肥例

(10アール当り)

時期	方法	資材
地力作り	なるべく早い時期に(播種までに1ヶ月以上おくこと)	ラクトバチルス 600g … 排水よく、根の張りやすい肥沃な土を作ります 堆厩肥 1トン以上 (なるべく多く) 硫安 80kg (もし通常の複合肥料なら、チツソ成分16kg程度) ※土壌pH: 6.5を目標として、もし土が酸性なら、地力作り時に 畑のカルシウム も投入して、土層全体を中和しておきます。特に根コブ病の頻発する畑では、酸性の中和も大事です。
整地時	整地・ウネ作り時に全面散布、またはベッド上に散布	畑のカルシウム 60kg ※この量の増減で土壌pHを調整してください。
育苗	散水時に使用	濃縮酵素液 1000倍 … 根を強くし、生長を促進 カルテックCa液状 1000倍 … 葉を厚くし、充実させる 4日間隔で交互に、葉の上からタツプリ散布します。
定植時	定植前後の灌水の時に	濃縮酵素液 500倍液 … 初期の根張り促進、根コブ軽減
前半	葉面散布/灌水	濃縮酵素液 500倍液を葉面散布 (根・生長の促進) 生育を強くするには、特に前半は根の力をつけることが大事です。 ★特に生長が弱い場合、根コブが心配なら、灌水施用で回復。 原液3~10リットルを灌水(300倍前後) カルテックCa液状 500倍 (生育を引締め、葉の病害対策) チツソ過多、芯腐れが心配な時は、カルシウムを葉面散布。
追肥	通常は、定植後30日、結球前(作型により調節) ※同時施用可	硫安 20kg
		畑のカルシウム 20kg
仕上げ	収穫前10日頃、葉面散布	カルテックCa液状 500倍 (葉を厚く充実させ、旨味を増し、品質を向上させます)